

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL <https://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	20,135	33.7	1,443	176.4	1,822	210.8	1,187	184.0
2022年3月期第3四半期	15,060	4.8	522	△41.3	586	△26.9	418	941.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,704百万円(58.1%) 2022年3月期第3四半期 1,078百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第3四半期	円 銭 165.37	円 銭 —
2022年3月期第3四半期	円 銭 58.18	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第3四半期	百万円 25,815	百万円 15,942	% 58.4
2022年3月期	24,569	14,396	55.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 15,077百万円 2022年3月期 13,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 10.50	円 銭 18.50
2023年3月期	—	8.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	53.50	61.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	22.6	1,500	134.9	1,900	146.9	1,100	111.0	153.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	7,739,548株	2022年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	593,641株	2022年3月期	552,941株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,180,574株	2022年3月期3Q	7,186,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、度重なる新型コロナウイルスの感染拡大に対し経済活動の正常化に向けた動きが見られ、消費の落ち込みや雇用環境の悪化から回復するなど、持ち直しつつあります。しかしながら、急激な円安の進行、原材料や半導体の供給不足・価格高騰などが続いており、依然として先行き不透明な状況にあります。

世界経済におきましては、行動制限の緩和により、米国を中心に景気は持ち直しつつあります。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化を背景に、世界的な原材料や半導体の供給不足・価格高騰及び物流の混乱が続いており、長期化が懸念されております。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、タイでのデジタルカメラ部品の受注が好調であり、ビデオカメラ部品の受注は中国で回復基調にあります。自動車関連部品では、半導体不足等を背景とした得意先による生産調整により減産が続いておりますが、需要・受注は増加傾向にあります。プリンター部品におきましても、得意先からの受注が増加しており、好調に推移しております。電子ペン部品では、テレワークや在宅勤務の増加を背景に一定の需要を維持しているほか、電子書籍端末向け部品の受注が増加いたしました。医療機器関連では、医療ニーズの高まりに伴い需要は拡大傾向にあり、得意先からの安定的な受注を続けております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い減少していた得意先からの受注が回復基調にあり、売上高は増加いたしました。また、感染拡大を背景とした各拠点のロックダウン等による生産効率の悪化に伴う費用が発生したものの、固定費の削減など経費削減に努めたことにより、営業利益は増加いたしました。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、子会社の棚卸資産に関する不適切な会計処理等が判明したことに伴い過年度決算訂正関連費用2億5千4百万円を計上しましたが、円安の進行に伴い為替差益2億9千2百万円が発生したことなどにより、大幅な増益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は201億3千5百万円と前年同四半期と比べ50億7千5百万円(33.7%)の増収、営業利益は14億4千3百万円と前年同四半期と比べ9億2千1百万円(176.4%)の増益、経常利益は18億2千2百万円と前年同四半期と比べ12億3千6百万円(210.8%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億8千7百万円と前年同四半期と比べ7億6千9百万円(184.0%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、デジタルカメラ部品やプリンター部品、電子ペン部品、金型を中心とした取引先からの受注増加及び固定費の削減など経費削減に努めたことにより、増収・増益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて192億1千4百万円と前年同四半期と比べ48億9千6百万円(34.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は13億5千5百万円と前年同四半期と比べ8億4千万円(163.1%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、電子ペン部品や医療機器部品の売上高は堅調に推移しております。また、減産・生産調整が続いていたデジタルカメラ関係部品や自動車関連部品では、受注の回復が見られました。しかしながら、原材料の値上げに対する価格転嫁が不十分なため、付加価値の圧迫が続いております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて6億7千4百万円と前年同四半期と比べ1億3千2百万円(24.6%)の増収となり、セグメント損失(営業損失)は1千1百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)6千7百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、中国市場における需要回復を背景に安定的な受注を続けており、売上高は増加傾向にあります。検査部門では、検査機の増設や前期に行った設備投資によりセラミック基板の受注が好調であり、増収を続けております。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億9千9百万円と前年同四半期と比べ4千5百万円(18.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億円と前年同四半期と比べ2千5百万円(33.6%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億5千3百万円増加し、176億8千5百万円となりました。受取手形及び売掛金が11億3千1百万円、原材料及び貯蔵品が6千1百万円それぞれ増加し、商品及び製品が2億1百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億9千2百万円増加し、81億2千9百万円となりました。有形固定資産が9千7百万円、投資その他の資産が8千6百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ12億4千6百万円増加し、258億1千5百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億2千3百万円減少し、75億8千3百万円となりました。短期借入金が3億1千6百万円、その他(流動負債)が1億4百万円それぞれ減少し、支払手形及び買掛金が1億4千4百万円、未払法人税等が9千7百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ7千5百万円減少し、22億8千9百万円となりました。長期借入金が1億7千7百万円減少し、繰延税金負債が6千2百万円、退職給付に係る負債が4千1百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億9千9百万円減少し、98億7千2百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億4千5百万円増加し、159億4千2百万円となりました。利益剰余金が10億5千5百万円、為替換算調整勘定が4億2千9百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2022年9月15日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(2023年2月10日)公表の「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、当社は、株主の皆様への利益還元を重要政策の一つと認識しており、経営体質の強化と将来の事業発展のために必要な内部留保を確保しつつ、業績や財務状況等を勘案し、安定した配当を継続して実施することを基本方針としておりました。この度、株主の皆様への利益還元の姿勢をより充実させるため、配当性向の目安を、従来の25%から40%程度へ引き上げることを決定いたしました。期末配当予想の詳細につきましては、本日(2023年2月10日)公表の「配当方針の変更及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,973,412	7,977,838
受取手形及び売掛金	3,790,545	4,921,832
電子記録債権	592,781	625,024
商品及び製品	1,047,178	846,021
仕掛品	1,246,424	1,219,187
原材料及び貯蔵品	1,592,974	1,654,188
未収入金	83,375	114,910
その他	306,834	328,175
貸倒引当金	△1,780	△1,476
流動資産合計	16,631,748	17,685,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,273,610	2,222,011
機械装置及び運搬具（純額）	2,643,882	2,620,883
土地	1,173,427	1,182,133
リース資産（純額）	108,780	107,377
建設仮勘定	135,417	436,479
その他（純額）	902,467	766,483
有形固定資産合計	7,237,586	7,335,369
無形固定資産	202,415	209,820
投資その他の資産		
投資有価証券	162,382	180,922
退職給付に係る資産	168,196	144,647
繰延税金資産	5,277	76,658
その他	163,798	184,419
貸倒引当金	△2,295	△2,295
投資その他の資産合計	497,360	584,352
固定資産合計	7,937,362	8,129,542
資産合計	24,569,110	25,815,244

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,510,810	2,655,496
短期借入金	2,786,000	2,470,000
1年内返済予定の長期借入金	1,008,616	1,003,616
未払法人税等	120,939	218,253
賞与引当金	195,806	191,993
関係会社整理損失引当金	296,494	259,584
その他	888,484	784,256
流動負債合計	7,807,150	7,583,200
固定負債		
長期借入金	1,481,224	1,303,512
長期未払金	-	156,004
繰延税金負債	294,077	356,496
役員退職慰労引当金	185,751	29,066
退職給付に係る負債	295,695	337,274
その他	108,545	107,277
固定負債合計	2,365,293	2,289,631
負債合計	10,172,444	9,872,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	8,769,008	9,824,579
自己株式	△397,975	△425,049
株主資本合計	12,806,160	13,834,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,313	57,720
為替換算調整勘定	755,005	1,184,871
その他の包括利益累計額合計	795,318	1,242,591
非支配株主持分	795,186	865,162
純資産合計	14,396,665	15,942,412
負債純資産合計	24,569,110	25,815,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	15,060,619	20,135,819
売上原価	12,452,937	16,245,682
売上総利益	2,607,682	3,890,137
販売費及び一般管理費	2,085,206	2,446,199
営業利益	522,476	1,443,937
営業外収益		
受取利息	56,234	82,125
受取配当金	6,224	7,002
為替差益	-	292,465
助成金収入	18,214	2,914
その他	17,482	22,233
営業外収益合計	98,156	406,741
営業外費用		
支払利息	26,974	26,461
為替差損	7,206	-
その他	-	1,255
営業外費用合計	34,181	27,717
経常利益	586,450	1,822,961
特別利益		
固定資産売却益	76,870	972
関係会社整理損失引当金戻入額	-	34,901
特別利益合計	76,870	35,874
特別損失		
固定資産圧縮損	-	3,000
固定資産売却損	7,789	23,091
固定資産除却損	5,975	3,215
投資有価証券評価損	46,486	-
過年度決算訂正関連費用	-	254,810
特別損失合計	60,252	284,116
税金等調整前四半期純利益	603,068	1,574,718
法人税等	166,782	298,653
四半期純利益	436,286	1,276,064
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,167	88,594
親会社株主に帰属する四半期純利益	418,118	1,187,469

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	436,286	1,276,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,147	17,406
為替換算調整勘定	607,022	411,258
その他の包括利益合計	642,169	428,665
四半期包括利益	1,078,455	1,704,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009,832	1,634,742
非支配株主に係る四半期包括利益	68,623	69,987

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,307,346	499,512	253,760	15,060,619	—	15,060,619
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,206	41,609	—	51,816	△51,816	—
計	14,317,553	541,121	253,760	15,112,435	△51,816	15,060,619
セグメント利益又は損失(△)	515,255	△67,891	75,112	522,476	—	522,476

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,197,300	639,073	299,444	20,135,819	—	20,135,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,973	34,936	—	51,909	△51,909	—
計	19,214,273	674,010	299,444	20,187,728	△51,909	20,135,819
セグメント利益又は損失(△)	1,355,582	△11,989	100,344	1,443,937	—	1,443,937

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。